

第 27 回「ブックトーク&いどばた」 さいたま市女性学研究会（ゆい）主催

2024 年 5 月 12 日（日） 14：00～16：00 パートナーシップさいたま 第 3

会議室 定員 24 名

小平陽一さんと共に「僕が家庭科教師になったわけ」と「生きる力」を話し合う！

男性の家庭科教師は今でも少数派。その家庭科教師に挑戦した小平陽一さんに、そのわけとなられてからのやりがいやご苦労などを語っていただき、「生きるための家庭科」とはどういうことかを話し合ってみませんか。

参考本『僕が家庭科教師になったわけ』小平陽一著（太郎次郎社エディタス）

参加ご希望、お問い合わせは、さいたま市女性学研究会事務局までご連絡ください。参加費 200 円

事務局<磯部（磯部）> 電話：048-641-3765 Eメール：i.sachie@nifty.com

小平陽一さんについて

1950 年、栃木県生まれ。元高校家庭科教員、理科教員。

東京理科大学理学部を卒業後、民間の会社に勤め、1976 年に埼玉県立高校の教員として採用される。化学教師として 18 年間つとめたのち、家庭科の教員免許を取得。男女共修となった高校家庭科を 16 年間教えてきた。現在は立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科で学びながら、執筆や家庭科教育の研究会、野菜作りなどにたずさわる。本書のもとになったレポートが、2013 年度日本女性学習財団賞大賞を受賞。